



第2回ファインバブル国際シンポジウム

～ナノ・マイクロバブルからファインバブルへ～

(平成 25 年度経済産業省委託事業)

【ファインバブル – その国際標準化と最新技術動向】

日 時: 2013年12月13日(金)10:00-16:50 (受付09:30-) 予定

会 場: 京都大学 芝蘭会館 稲盛ホール(京都市左京区吉田近衛町京都大学医学部構内)

<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/siran/index.htm>

主 催: 一般社団法人微細気泡産業会(FBIA)、独立行政法人産業技術総合研究所(AIST)

参加費: 無料

言 語: 日本語および英語(同時通訳付)

開催趣旨:

ファインバブル技術は革新的技術であり、その利用範囲も洗浄分野、医療・薬品・健康分野、農業・水産分野、食品・飲料分野等非常に広範な可能性を有し、将来的にはグローバルな基幹産業の一つとなることが期待されます。

しかしながら、産業創成の前提となるファインバブル技術に関する計測/評価/認証技術が未だ確立されていないことが、産業応用の加速的進展を阻害する要因となっています。

本シンポジウムでは、ファインバブル技術の応用分野の研究開発について、国内外の第一人者の方々より研究成果や最新動向についてご紹介いただきます。

また、日本工業標準調査会(JISC)、(一社)微細気泡産業会にて推進中の ISO/TC281 ファインバブル技術に関する国際標準化活動状況や健全な市場形成における国際連携、今後の方向性について議論し、国際的枠組み強化や産業界の意識向上を図ります。

■プログラム(案) ※都合により、講演題目・プログラム内容が変更される場合がございますので、ご了承下さい。

第2回ファインバブル国際シンポジウムプログラム(案)

10:00	開会挨拶 筧 伸雄氏 国際シンポジウム WG 委員長 (ヤマト科学株式会社 取締役常務執行役員)
	挨拶 経済産業省
10:10	基調講演 寺坂 宏一氏 慶應義塾大学 理工学部 応用化学科 教授 タイトル:「ファインバブル技術の現状と展望ならびに国際標準化の必要性」
午前の部(国際標準化テーマ)	
10:50	講演2 Mr. Maurice Wedd, Chairman of ISO/TC 281 (UK) (仮)タイトル 「ISO/TC 281 及び国際標準化の活動について」
11:10	講演3 太田 秀幸氏 独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター(IAJapan) 次長 タイトル:「国際標準化における認定機関としての NITE の役割」
11:30	パネルディスカッション「国際標準化の重要性と今後の課題」 パネラー: Mr. Maurice Wedd, Chairman of ISO/TC281 (UK) Ms. Jenny Pellaux, ISO Central Secretariat Professor Michael Stintz, Technical University of Dresden (DE) 綾 信博氏 ISO/TC281国際幹事 独立行政法人産業技術総合研究所 イノベーション推進本部 イノベーションコーディネーター 藤田 俊弘氏 IDEC 株式会社 常務執行役員 技術戦略本部長 IDEC グループ C.T.O.

	島岡 治夫氏 株式会社島津製作所 分析計測事業部試験機ビジネスユニットプロダクトマネージャー
12:20	フラッシュプレゼン各社 2分 IDEC 株式会社/有限会社OKエンジニアリング/大塚電子株式会社/株式会社島津製作所/ 株式会社多自然テクノワークス/株式会社戸上電機製作所/ NanoSight Ltd.(日本カンタム・デザイン株式会社)/マルバーン(スペクトリス株式会社)/ ワイビーエム株式会社
12:40	- 休憩 - (ポスターセッション(パネル展示)及び発生器・計測器等デモンストレーション)
午後の部(学術・アプリケーション・産業化テーマ)	
14:00	講演6 伏木 亨氏 京都大学大学院 農学研究科 食品生物 化学専攻 教授 タイトル「ファインバブルへの香気封入の試み」
14:20	講演7 Dr. Wannee Chinsirikul, National and Material Technology Center (TH) タイトル「ファインバブル技術と殺菌剤の併用による病原菌の減少について」
14:40	- 休憩 - (ポスターセッション(パネル展示)及び発生器・計測器等デモンストレーション)
15:00	講演8 調整中 タイトル「」
15:20	講演9 Professor Michael Stintz, Technical University of Dresden (DE) タイトル「ファインバブルの特性および応用例」
15:40-16:30	パネルディスカッション「ファインバブル導入の応用例及び今後の展開について」 質疑応答 パネラー: Dr. Wannee Chinsirikul, National and Material Technology Center(TH) 寺坂 宏一氏 慶應義塾大学 理工学部 応用化学科 教授 角田 直行氏 西日本高速道路株式会社 執行役員 中国支社長/洗浄 松本 琢史氏 株式会社富喜製作所 取締役/農業 宇川 岳史氏 株式会社ワイビーエム 東京支社 第三営業部/水産業
16:30	閉会挨拶

16:30-16:50 ポスターセッション(パネル展示)及び発生器・計測器等デモンストレーション
17:00 立食懇親会(講演者/参加者の名刺交換会)
会費:4,000円(受付にて領収証を発行します)
場所:京都大学百周年時計台記念館内【レストランラトゥール】
URL:<http://www.madoi-co.com/food/la-tour/>
※プログラム進行によって開始時間が予定より前後する可能性があります。

■参加申し込みの方法

参加ご希望の方は、ホームページの申し込みフォーム <http://www.fbia.or.jp/> に必要事項をご記入の上お申し込み下さい。
お申し込み頂いた個人情報につきましては、厳正管理を行い、今回及び今後の FBIA 活動のご案内の使用に限らせて頂きます。

■参加申し込み期限 : 2013年11月27日(水)

※参加者は、会場の都合もあり、先着200名とします。お早めにお申し込み下さい。

参加定員を満了した時点で申し込み受付を終了いたします。(当日受付もお断りさせていただきます。)

■問い合わせ先

〒105-0013 東京都港区浜松町2-2-15 浜松町ゼネラルビル4F 一般社団法人微細気泡産業会事務局 原田
E-mail : info@fbia.or.jp TEL : 03-6432-4242 FAX : 03-6432-4243